



施設概要

けいはんな情報通信オープンラボは、産学官が連携した地域における情報通信分野の研究開発を推進し、かつ専門家の育成等を併せた人材の育成等にも寄与するために整備されたものです。

けいはんな情報通信オープンラボを利用できるプロジェクトは、独立行政法人情報通信研究機構法に規定する調査、研究及び開発に則したもので、産学官連携によるICT研究開発を促進するものです。

ユビキタスホーム 情報家電と多種のセンサと、それらを接続するホームネットワークで構成される実生活型実証実験テストベッド	JGN2plus (研究開発用ネットワーク) 全国規模の研究開発テストベッドネットワークで、けいはんなでは最大10Gbpsで接続可能
ユビキタスマニタウン 建物ロビーから構内まで、センサ群が整備されたミニタウン用実験施設	超高精細画像実験システム 800万画素(HDTVの4倍)の超高精細画像実験施設

利用形態

- 共同研究型** NICTと共同研究契約を締結し施設を利用する形態
- 施設利用型** NICTと共同研究契約を締結せず、施設のみを利用する形態
(長期利用：4ヶ月以上継続、短期利用：4ヶ月未満)
- 一時利用型** 既に施設の利用許可を受けた機関が、NICT以外の第三者との共同による施設利用を行う形態(原則2週間以内)

入会のご案内

- 会費** 会費は1口5万円/年です。
大学、ベンチャー企業等、当協議会理事長が認める個人、団体は会費免除になる場合があります。
- 入会方法** 特定のプロジェクト等に参加される場合には、別途応分の負担が必要になる場合があります。
協議会の活動に賛同され入会をご希望の方は、下記のURLから申込みをお願いいたします。
http://www.khn-openlab.jp/kyogikai_admission.htm

事務局問い合わせ先

事務局 社団法人 関西経済連合会
近畿総合通信局

NICT 独立行政法人 情報通信研究機構
財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

問い合わせ先 独立行政法人 情報通信研究機構 けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会事務局
〒619-0289 京都府相楽郡精華町光台3-5
TEL : 0774-98-6806 FAX : 0774-98-6955
E-mail : kyogikai-info@khn.nict.go.jp
URL : <http://www.khn-openlab.jp/>

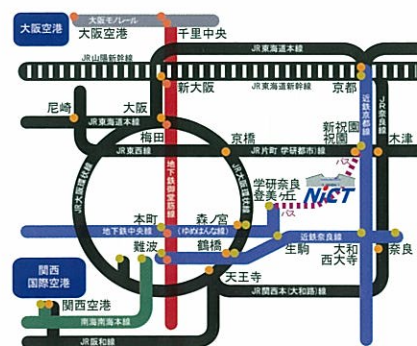
アクセス方法

JR 学研都市線祝園駅・近鉄京都線新祝園駅

- 奈良交通路線バス(約15分)
36系統光台循環「光台三丁目」バス停下車 向い
41系統学研奈良登美ヶ丘駅行き「光台三丁目」バス停下車 向い
47系統学研奈良登美ヶ丘駅行き「けいはんなプラザ」バス停下車 徒歩3分

近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅

- 奈良交通路線バス(約15分)
41系統祝園駅行「光台四丁目」バス停下車 すぐ
47系統祝園駅行「けいはんなプラザ」バス停下車 徒歩3分



※图中 NICT の場所にはけいはんな情報通信オープンラボの施設があります。

けいはんな情報通信オープンラボ 研究推進協議会

<http://www.khn-openlab.jp/>

ごあいさつ

けいはんな情報通信オープンラボは産学官連携によるICT研究開発の実施に向け、平成15年6月に(独)情報通信研究機構(NICT)知識創成コミュニケーション研究センター(平成20年4月けいはんな研究所開所)において開設いたしました。

当協議会は、本オープンラボを有効に活用し、ネットワークの高機能化、人間中心のコミュニケーションなど、ICTに関し実効的な産学官連携の構築、技術の育成、研究推進等を図るため、関西の産学官が一体となって設立した協議会です。

これまで、海外ベンダーとの複数キャリア間ネットワーク相互接続実験の成功やユビキタスホームにおける快適で安心して暮らせるためのサービス評価及び行動データの収集、また特区を活用した公道でのネットワークロボット実証実験の実施など、多くの成果が生まれつつあります。

今後は、これらの生み出された新技術を新たな産業創出に展開するとともに、利用者にとって一層の利便性・快適性を実感できるICT社会の実現に向けた技術開発を行っていくことが重要です。

このオープンラボでの成果が産学官連携のより良いモデルとなり、世界のデファクトスタンダードに育ち、合わせて国民生活を豊かにする技術開発の世界的な拠点に発展するよう共に努力して参りたいと存じます。

本協議会へのご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

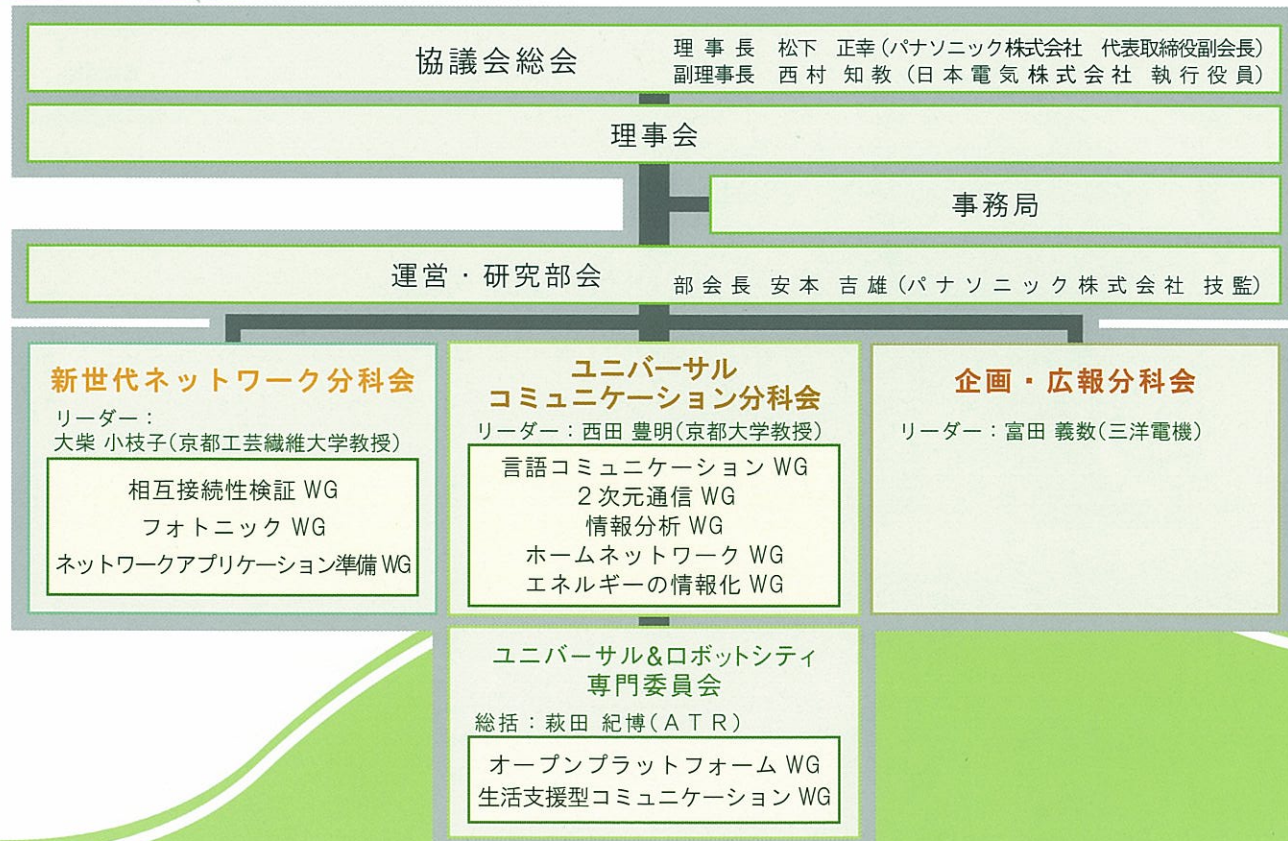


けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

理事長 松下 正幸

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会について

当協議会では、本オープンラボを有効に活用し、ネットワークの高機能化や、ユニバーサルコミュニケーション、ユビキタスネットワーク技術とロボット技術を融合したネットワークロボットなど、ICTに関し実効的な産学官連携を構築し、新たなサービスや産業の創出を目指すとともに、専門家の育成を併せた人材の育成にも寄与してまいります。



活動概要

新世代ネットワーク分科会

新世代ネットワークの実現に向けた課題を解決するため、各レイヤにまたがるネットワーク関連技術の研究開発を推進し、日本発の技術を創出し、国際標準に提案し、我が国の国際競争力の確保を目指します。

- 光ネットワークに関しグローバルな相互接続検証を実施。新たなネットワーク技術開発と国際標準化活動を推進。
- 幹線からアクセスまで光領域で情報伝達機能を行うフォトニックネットワーク技術について各種連携実験を実施。先端的光通信要素技術の開発。
- 新しい情報通信サービスのためのネットワーク基盤の検討。



国際標準化

- ◆ 国際標準化機関ITU-Tにおいて、イーサネットに対応した10/40/100ギガビット光伝送方式の国際標準化に貢献(G.709 Amendment3 "Interfaces for the Optical Transport Network" 2008年12月)



ユニバーサルコミュニケーション分科会

言葉・文化・能力の違いを超え、心と心が通うユニバーサルコミュニケーションの実現に向けて、産学官連携を核とした研究開発を行い、新産業の創出、国際標準化、人材育成に取り組みます。

- NICTの持つ豊富な言語資源と高度な言語処理技術を利用した総合的な言語コミュニケーションシステムの研究開発
- ウェブ上の膨大な情報の中から信頼できる「知の情報」を取り出し、誰もが多様かつ柔軟に活用ができる技術の研究開発
- シート状の伝送媒体を用いて、高速・広帯域な通信と電力供給を行うことができる二次元通信技術の研究開発
- ユビキタスホームを活用し、次世代のホームネットワークの実用化、普及促進、国際標準化に資する研究開発及び実証実験
- 情報通信技術を用いて家庭内から地域コミュニティのエネルギー消費の削減、エネルギーの適正なマネージメントを実現するための研究開発



ユニバーサル&ロボットシティ専門委員会

- ◆ ユビキタスタウンの実現に向け、ユビキタスホームにおける生活実証実験及びネットワークロボットの实証実験
- ◆ 最先端のユビキタス/センサーネットワーク環境におけるネットワークロボットの相互接続実験及びロボット間協調技術の研究開発
- ◆ 一般生活者と共生するコミュニケーションロボットの实现に向けて、生活者支援に必要なコミュニケーション技術の研究開発

企画・広報分科会

新たな研究開発テーマの発掘、オープンラボ等の研究環境整備に関する利用者ニーズの集約と利用促進を目指して、下記の活動を行います。

- 定期的な会員ニーズの調査、内外の技術動向の調査
- 情報共有や交流の場の提供、シンポジウム及びワークショップ等のイベントの企画及び運営
- ホームページやパンフレットを活用した協議会活動の情報発信
- 協議会会員向けの人材育成セミナー(ユビキタスネットワーク、ホームネットワーク、音声言語技術等の最先端技術を、NICT、ATR、大学の研究者が講師となって行うセミナー)の実施

